

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を活かして 福祉避難所・高齢者施設等に「アイ・ドラゴン4」を設置してください

障害者差別解消法 == 事業者も合理的配慮の提供が義務化されました ==

2025年6月25日、「手話に関する施策の推進に関する法律」が施行され、地域における生活環境の整備等(第10条)では、「災害等の非常事態が発生し、又は発生するおそれがある場合に安全を確保するための手話による情報提供」と定められています。

「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする情報アクセシビリティ対応機器です。引き続き、ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の「アイ・ドラゴン4 設置要望書」を提出してください。

「アイ・ドラゴン4」の機能

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る
(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
- 2,500本超の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる



認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています。

聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

障害者放送通信機構は、全国の都道府県・市町村に対して福祉避難所で「アイ・ドラゴン4」を活用し、「防災体験会」を定期的に開いていただくよう要望しています。

防災体験会の例

- 個別避難計画(マイ・タイムライン)の作成
- 万一の場合に自分と家族が行くべき避難所の確認
- 自分が助けることができる人・一緒に避難できる人は誰かについて話し合う
- 非常時持ち出しリュックの中身を披露し合う
- 停電時にスマホを充電する方法を学ぶ
- 「アイ・ドラゴン4」で「目で聴くテレビ」の防災動画を見て基本的な防災減災の知識を得る

全日本ろうあ連盟と全国の協会、障害者放送通信機構は、定期的に「アイ・ドラゴン4」説明会&意見交換会を開いて「アイ・ドラゴン4」の普及に努めています。各地の協会誌では「アイ・ドラゴン4」と「目で聴くテレビ」をご紹介いただいています。ぜひ、地元の協会誌で読者のみなさまにご紹介いただきますようお願い申し上げます。

東区手話まつりをリポートしました

「目で聴くテレビ」は、年間約5本の番組を提供しています。今回は河村職員(東区支部長)がリポーター役になり、11月16日に開催された東区支部主催「第13回東区手話まつり」を紹介する番組を制作しました。北海道のろう者が初めて防災士の資格を取った白石

札幌協では「目で聴くテレビ」に、年間約5本の番組を提供しています。今回は河村職員(東区支部長)がリポーター役になり、11月16日に開催された東区支部主催「第13回東区手話まつり」を紹介する番組を制作しました。北海道のろう者が初めて防災士の資格を取った白石

区支部の東出昇氏による防災クイズや、アイス刺しゅう体験コーナーなど、内容は盛りだくさんです。この番組は12月9日から配信されます。目で聴くテレビを見るためには、専用チューナー「アイドラゴン4」(インターネット環境)「受信料」が必要です。「アイドラゴン4」は日常生活用具に指定されていますので、役所に申請すれば約1割の自己負担で購入可能です。また、札幌市視聴覚障がい者情報センター2階「ビデオ貸出コーナー」で無料で見ることもできます。過去に札幌協が制作した番組を見ることもできますので、ぜひご利用ください。

▲アイ・ドラゴン4

みんなもアイドラゴン4で「目で聴くテレビ」を見よう!

インターネットに繋げて、24時間いつでも好きな番組が見られる「アイドラゴン4」富山県でも普及していきましょう!

アイドラゴン3以前を持っていた人、アイドラゴン3まで見続けて止めた人などと思いますが、アイドラゴン4は以前のものより大幅にパワーアップしました。過去に放送されたたくさんの番組を好きな時間に見ることができます。また接続はインターネットに接続するだけで簡単です。業者による設置工事もできますので接続方法がわからなくても安心です。(注意:接続工事費用は自己負担となります。)

自宅に設置するだけでなく、公共施設に設置することで聞こえない仲間や手話を学ぶ聞こえる人たちと一緒に見て手話で語らう場を設けることもできます!また避難所に設置すれば震災時のろう者の情報源にもなります!

自宅、また公共施設に設置してほしいと思ったら、富山県聴覚障害者センターへ相談してください!

※機器本体の販売価格は88,900円ですが、市役所などに申請すれば減免可能です。聞こえる人が手話学習や手話文化、ろう文化理解に使いたいときは「シードラゴン」が用意されています。本体72,000円(税別)、レンタルもあります。

くわしくは、認定NPO法人障害者放送通信機構(全日本ろうあ連盟、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、金管企業のアステムが中心に設立)による「目で聴くテレビ」のHPを見て下さい

「HSK 札幌障」より

「富山ろう友」より